

3 月号
VOL. 489

土會茶良

593



SHIKAI
2016 NARA

表紙のことば

修二会（お水とり）



修二会について

東大寺二月堂の修二会は、天平勝宝4年(752)、東大寺開山良弁僧正の高弟、実忠和尚が創始された。以来、平成27年(2015)には1264回を数える。修二会の正式名称は「十一面悔過と云う。十一面悔過とは、我々が日常に犯しているさまざまな過ちを、二月堂の本尊である十一面観世菩薩の宝前で、懺悔することを意味する。

修二会が創始された古代では、それは国家や万民のためになされる宗教行事を意味した。天災や疫病や反乱は国家の病氣と考えられ、そうした病氣を取り除いて、鎮護国家、天下泰安、風雨順時、五穀豊穰、万民快樂など、人々の幸福を願う行事とされた。東大寺のながい歴史にあって、二度までもその大伽藍の大半が灰盤に帰ってしまった時ですら、修二会だけは「不退の行法」として、1260有余年もの間、一度も絶えることなく、連綿と今日に至るまで引き継がれてきたのである。

この法会は現代では3月1日より2週間にわたって行われているが、もとは旧暦の2月1日から行われていたので、二月に修する法会という意味をこめて「修二会」と呼ばれるようになった。二月堂の名もこのことに由来している。

——HPより抜粋引用——

(写真・文 提供 出原 眞)

情報・広報委員会

委員長	松尾 憲治		
副委員長	田上 圭吾	折目 貴司	
委員	乾井 哲	水守 寛敏	
	鷓山 治	大倉 克之	
	小松原寛俊	嶋山 泰正	
	福西 保夫	福本 保治	
	藤井 靖彦	宮浦 重彦	

Contents

- 001 青年委員会
「平成27年度1、2級及び木造建築士合格者見学会及び祝賀会」のご報告
- 002 森林技術センター
第6回「奈良県産スギ材に関する意識調査について」
- 004 総務委員会
「新年大交歓会～異業種とつながろう～」
事業報告
- 006 女性委員会
「第26回全国女性建築士連絡協議会（奈良）開催」
- 007 郡山支部
「大和郡山城下町として大切にしたい
建物50選」
- 008 郡山支部
「『未来につなぐ!』フォーラムへのご案内」
- 009 お知らせ
「2015高校生の「建築甲子園」奨励賞受賞」他



青年委員会

『平成27年度 1、2 級及び木造建築士合格者見学会 及び祝賀会』のご報告

平成28年1月31日(日)に『平成27年度 1、2 級及び木造建築士合格者見学会及び祝賀会』を開催いたしました。奈良県建築士会の恒例事業として毎年行っているこの事業は、難関の建築士試験に合格し、新たに建築士となられた方々を対象に、まずは建築士会の活動を知っていただき、我々建築士会会員と親睦を深めた上で、建築士会に入会いただくことを主旨としております。建築士会の雰囲気や組織活動を感じて頂きながら継続的に参加してみたいと思ってもらえるよう、今年も青年委員会が一丸となって「おもてなし」させて頂きました。見学会は、毎年恒例となった東大寺にて、そして祝賀会は、ならまちの今西家書院での開催となりました。なお今年は新たな試みとして、まず昼食会を兼ねた祝賀会を先に開催し、合格者・会員同士の親睦を深めた上で、東大寺見学会を行う昨年とは順序を入れ替えた計画で行いました。

今年は、1、2 級、木造建築士の合格者 8 名の方々に参加いただきました。連日、寒波や雨が続き、天候が心配されましたが、この日は冬晴れの心地よい一日となりました。お昼前に近鉄奈良駅に集合し、東向・もちいどの商店街を経て、ならまちの方へ足を運ばせました。合格者の方は最初、やや緊張された様子でしたが、青年委員の気の利いたトーク力で次第に和んでいき、毎年の開催によって培われた「おもてなし精神」はここでも存分に発揮されました。

そして会場に到着し、祝賀会を行いました。青年委員の推奨で、今年は今西家書院を会場として貸していただきました。重要文化財である室町時代初期の書院は、繊細でありながら温もりがあり、非常に上品な空間になっておりました。今回の会場は、その書院のある奥の間を貸して頂けることになり、さらにそこからは、中庭を一望することで、贅沢な祝賀会となりました。



祝賀会開催にあたり洲上会長と本保女性委員長よりご祝辞を頂きました。ご祝辞の中では、ご自身のご入会のきっかけ等をお話して頂きながら、建築士会は仲間や繋がりを築く上で貴重な場となるというお言葉を頂き、建築士会の意義について改めて認識させて頂きました。その後、会

席料理を頂きながら、建築士会の説明、青年委員会活動をまとめた写真をスライドショーで上映し、また自己紹介をして交流を深めていきました。この頃になると、合格者の方もすっかりと馴染んでいただいた様子で、青年委員、合格者の隔たりも無く、会場は非常に賑やかな雰囲気になっておりました。

祝賀会終了後、徒歩で移動し、東大寺で見学会を行いました。ここでは、東大寺様より、推定高さ70メートル以上の東西2基の七重塔が建っていたことや、現存の大仏殿は創建当初よりも4間縮小されたものであるといったお話を聞かせて頂き、圧倒的なスケールの大仏殿を目の当たりにしながらその歴史に触れることができ、改めて東大寺の魅力を再認識することが出来ました。また、今回も特別に登壇参拝(ハスの花びらの上に登っての参拝)させて頂き、他では経験出来ない、大変貴重な体験をさせて頂きました。そして、見学会終了後、閉会、解散となりました。

私自身、事業統括というものを初めて経験させて頂き、



たくさんのごことを学び、自分自身への糧となりました。建築士会でしか経験できない活動を通じて仲間との絆を深め、日常生活の糧にする、まさにこれこそ建築士会の利点だと思います。この日、合格者の方から、楽しい祝賀会であった、参加して良かったという感想をいただき、入会を前向きに検討するというお声も多数いただきました。本年度も奈良市内での開催と致しましたが、今後は場所・内容等については、変化のある、より良いものを目指し、参加者の満足度の高い事業にしていきたいと思っております。参加者数については、例年、合格者の1割程度となっているため、より多くの方々に参加いただき建築士会との接点を築けるよう、合格者の方々へのアプローチの方法、募集方法を改めて検討していきたいと思っております。本事業を継続することにより、引き続き我々と合格者の方々を結ぶ架け橋としていきたいと考えております。最後になりましたが、本事業を行うにあたり、ご協力頂きましたたくさんの皆様に心よりお礼申し上げます。

(記・青年委員会 井久保政嗣)



木材の特長と色々な使い方

第6回 奈良県産スギ材に関する意識調査について

奈良県森林技術センター 成瀬達哉

1. はじめに

奈良県吉野地方は、古くから林業を産業とし、良質な木材を生産してきました。この地域で産するスギ材は、節が少なく、材色も良く、強度が高いことから、建築用製材としても高い評価を得ています。また、県内では吉野地方に類似した施業が行われてきた地域も多く、同様の良材が生産されています。しかし、近年、消費者意識等の変化により奈良県産スギ材の需要は減少しており、とりわけ高級材の需要減は顕著です。今後、需要の拡大に向けた対策を検討するためには、県産スギ材に対する売り手および買い手の意識を知ることが必要です。

一口にスギ材と言っても、木目や材色、節の有無等の外観の違いにより、スギ材の表情は様々です。そこで、外観の異なる県産スギ材のサンプル写真を用いて、それらの印象と、住宅内装材として使用する場合に適すると思われる用途について、奈良女子大学と共同でアンケート調査を行いました。今回はその結果をご紹介します。

2. アンケート調査

調査の対象は、売り手として建築業・木材業・林業の業界関係者、買い手として主婦・会社員・自営業・無職・学生としました。

使用したサンプル写真は、図1に示す心材板目板の年輪幅が広いもの(A)と狭いもの(B)、辺材板目板の年輪幅が

広いもの(C)と狭いもの(D)、心材柱目板(E)、源平柱目板(F)(心材と辺材の両方が含まれる材は源平と呼ばれています。)、および節の多い板目板(G)と少ない板目板(H)の8種類です。写真1枚の大きさは90mm×45mmで、全サンプルを並べてA4用紙に印刷し、回答者に提示しました。

印象の選択項目は、「高級な」・「自然な」・「古風な」・「上品な」・「軽快な」・「くつろいだ」・「好きな」・「重厚な」・「洗練された」・「すっきりした」・「深みのある」・「使ってみたい」・「吉野スギのイメージに合う」としました。また、用途の選択項目は、「居間の壁材」・「居間の床材」・「主寝室の壁材」・「主寝室の床材」・「子供部屋の壁材」・「子供部屋の床材」としました。各項目に合うサンプルをそれぞれ任意の数選択してもらうとともに、選択理由を自由に記述してもらいました。

回答者数は、売り手が78人、買い手が61人の合計139人でした。回答者の性別は、男性49%、女性50%、年齢は18歳から79歳(平均42歳)でした。居住地は奈良県が約30%で、その他は全国各地に及びました。

3. 調査の結果

表1に、選択率の高かった項目を示します。同一のサンプルで比較すると、印象および適する用途とも、売り手および買い手の選択項目は概ね共通していました。しかし、一部サンプルでは相違も見られ、例えばEの適する用途では、売り手が主寝室および居間の壁を選んだのに対し、買

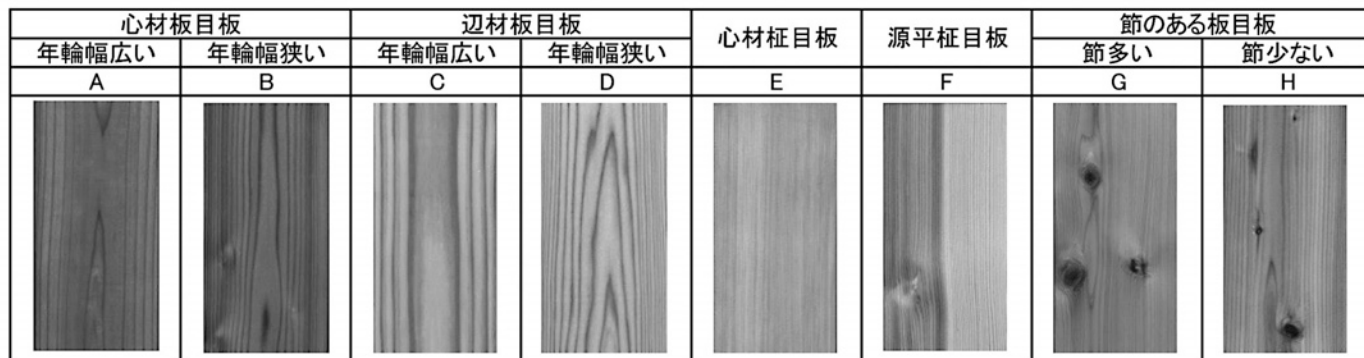


図1 サンプル写真

表1 選択率の高かった印象および適する用途

サンプル	A		B		C		D		E		F		G		H	
	売り手	買い手	売り手	買い手	売り手	買い手	売り手	買い手	売り手	買い手	売り手	買い手	売り手	買い手	売り手	買い手
印象	重厚な 深みのある 古風な		重厚な 深みのある 古風な		すっきりした 使ってみたい		好きな くつろいだ		すっきりした 上品な		軽快な		自然な		自然な	
	使ってみたい				軽快な		軽快な 使ってみたい		高級な		すっきりした					
適する用途	主寝室の床		主寝室の床		居間の壁		居間の壁		居間の壁 主寝室の壁 子供部屋の壁・床		子供部屋の壁		子供部屋の床・壁		子供部屋の床・壁	

いは居間の壁の他、明るくてすっきりしているからという理由で子供部屋の壁・床も選びました。一方、サンプル間で印象および適する用途を比較すると、売り手および買い手とも、選択項目に相違が見られました。これは、サンプルの外観、すなわち木目、年輪幅、材色、あるいは節等の相違に基づく結果と思われる。そこで、外観と調査結果との関係を、以下の通り分析しました。

木目 A・B・Dには山型の木目があり、C・E・Fにはそれがありませんでした。調査結果より、C・E・Fは、「すっきりした」印象を与えることがわかります。

年輪幅 年輪幅の狭いB・Dは、それが広いA・Cに比べて、印象および適する用途ともに、選択された項目の選択率が高い傾向が見られました。

材色 心材色の濃いA・Bは、「重厚な」、「深みのある」印象を与え、主寝室の床が選ばれました。一方、辺材で材色の薄いC・Dは、「軽快な」印象を与え、居間の壁が選ばれました。

節 節のあるG・Hは、「自然な」印象を与え、子供部屋の床と壁が選ばれました。この傾向は、節の多いGで明確に見られました。

次に、図2に、売り手および買い手の職種別に分析した結果を示します。売り手は、建築業および木材業・林業に2区分し、買い手は、主婦・会社員・自営業・無職（以後、主婦等と言います。）および学生に2区分しました。図には、印象および適する用途とも、選択率が高かったサンプル

(B、D、E、G)を示しました。

印象では、職種にかかわらず類似した結果が得られました。すなわち、Bは各職種に「重厚な」および「古風な」印象を与え、Dは「好きな」印象を、Eは「高級な」、「上品な」、「洗練された」および「すっきりした」印象を、Gは「自然な」印象を与えました。これらの各サンプルの印象が、内装設計等に活かされることが望めます。

また、Eは林材業者間では高級材と見なされていますが、主婦等および学生でも「高級な」、「上品な」、「洗練された」といった印象を与えることがわかりました。したがって、Eの高級感を活かした新製品の開発も期待されます。

一方、適する用途は、職種により異なる場合があり、例えば節の多いGは、自然な感じがし、面白みがあって良いという理由で、各職種で子供部屋が選ばれましたが、その選択率は職種間で異なりました。すなわち、建築業では選択率が高く、選択理由として価格が安いことも挙げられました。しかし、木材業・林業ではGの選択率は相対的に低くなりました。この理由として、節のある材は安物といった意識が根強く、低評価であることが考えられます。

4. おわりに

スギ材は外観の違いによって、見る人に与える印象や適すると考えられる用途が異なっており、職種により異なる場合もありました。この調査の結果が、少しでも建築士の皆様の参考となれば幸いです。

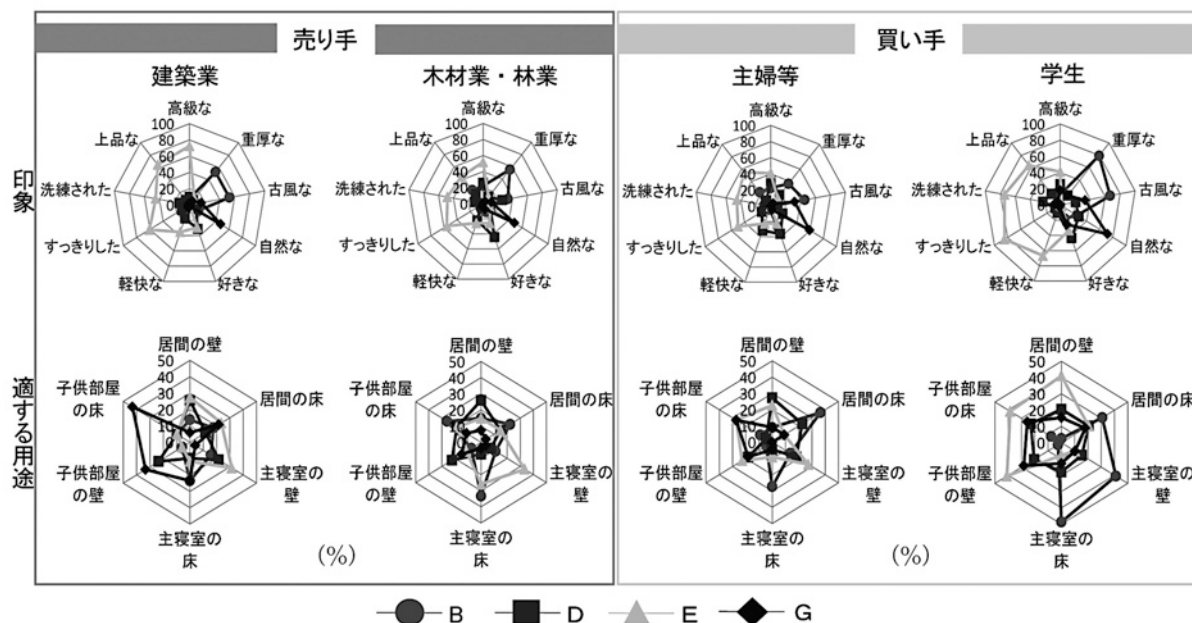


図2 各職種におけるサンプルの選択率

注：サンプルB・D・E・Gのみの結果。印象の選択項目は、「高級な」・「重厚な」・「古風な」・「自然な」・「好きな」・「軽快な」・「すっきりした」・「洗練された」・「上品な」のみ。



新年大交歓会～異業種とつながろう～事業報告

(一社)奈良県建築士会では、毎年新年を迎えるにあたり、会員が一堂に会し一年の抱負を語り合う「新年名刺交換会」を開催してきました。

平成28年は、内容を一新して、日ごろ建築士会と交流のある建築関係団体の他に、異業種の方や行政関係者、あるいはまちづくり団体の関係者など、多くの会員にご紹介したい方を招待し、会員と交流を拡げてゆくため、「平成28年新年大交歓会～異業種とつながろう～」と題して開催いたしました。当日は、今西酒造(株)今西将之代表取締役の地域活動についてのお話もありました。会場は立食パーティ形式でおこなわれ、多数のご参加をいただきました。

記

日時：平成28年1月29日(金) 18:30より
場所：奈良国立博物館地下レストラン葉風泰夢
主催：一般社団法人 奈良県建築士会
協賛：一般財団法人 なら建築住宅センター

次 第

1. 開 会 18:30
2. 会長挨拶 18:30～18:35
一般社団法人 奈良県建築士会
会長 瀧上徳光
3. 来賓祝辞 18:35～18:40
奈良県副知事 松谷幸和様
4. 記念講演 18:40～18:55
「酒の神が鎮まる地
奈良・三輪ガイド付き聖地巡盃ツアー」
今西酒造株式会社 代表取締役
今西将之様
5. 乾 杯 19:00
一般社団法人
奈良県建築士事務所協会
会長 植村吉延様
6. 各種紹介 19:15～
スクリーン上映による
ご招待者の活動紹介
7. 閉会挨拶 20:00
一般社団法人 奈良県建築士会
副会長 井上慶治

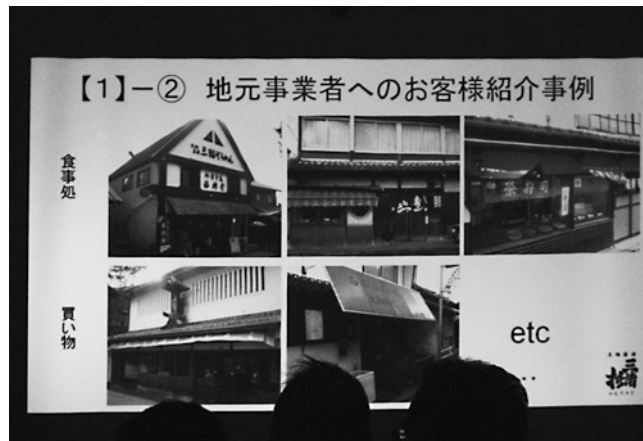
1月29日(金曜)氷雨がしっかり降り続き、国立博物館への歩道は、いく本もの川がながれ、観光奈良といいにくい状況が出現した。本当に足元の最悪の中、来賓招待者の皆様にご参集頂き、副知事のご挨拶で始まりました。……



今回は、会員増強ワークショップで要望があった、参加しやすい名刺交換会をめざし会費、会場、スタイルを一新し、一年間お世話になった、異業種の方々と交流し共有する事を目的としました。今後、士会活動で幅広い人脈を生かした事業を期待しています。ビュフェスタイルの立食とした事で、活発な交流に結びついたと思います。

会場は思いのほかゆったり広く好評でありました。又、来賓、招待客に会の活動を広くしてもらおう目的で青年部事業の「今西酒造さんの街を活性化する」取り組みをご講演頂きました。……

地域の誇れる資産を見つけ其れをいかにアピールするか。いずれの街にも共通する課題の糸口があったようにおもいます。これを、話題のきっかけにして、歓談、交歓会



が始まりました。来賓、招待客は席を用意し、参加者全員に、出席者名簿、席配置図を配布し、話したい相手の所在をわかる様にいたしました。又、賛助会様の発表コーナーも設け新製品等のアピールもして頂きました。



初めての試みで何かと不行き届きの点もあったかと思いますが、和気藹々と名刺交換もする相手が多く見受けられ、成功裏に終わったと自負しております。願わくば、女性委員会青年委員会の参加が多くなればより一層有意義な会となったと思います。



総務委員会としては、次年度は南部で開催する予定です。年々異業種、一般の方々との交流を勧め、建築士会の存在を広めたいと思っております。

士会皆で、情報共有し交流の輪を広げて行きましょう。併せて、我々建築士の特性、資産、強みは何かを考え、事業に反映し収益事業になれば、と。女性委員会の茶室の本とか、伝建の講習資料とかは、古民家に住みたい人や耐震

をしたい人のテキストになり得るのでは？と、今西酒造の「みむろ杉」を戴きながら妄想たくましく春の夢を見ていました。少ない人数で精一杯後押ししてくれた事務局員にも御礼申し上げます。



事業費の縮小をお願いしつつも活性化の道を模索しつつきたいと思えます。 (文責・総務委員長 鈴木猛夫)

〈建築 memo 奈良国立博物館〉

- **なら仏像館(旧帝国奈良博物館)** 明治27年奈良で初の本格的西洋館。設計：片山東熊(1854-1917) 山口県生まれ。明治期に活躍した建築家ジョサイア・コンドルが設立した工部大学校第1期生。工手学校教務主里。
主な作品：京都国立博物館・東京国立博物館・旧東宮御所(迎賓館)
- **西新館** 鉄筋コンクリート造。昭和47年、正倉院の外観を模している。設計：吉村順三(1908-1997) 東京生まれ。アントニン・レーモンドに師事。日本の伝統とモダニズムの融合を図った。東京芸術大学教授。
主な作品：箱根ホテル小涌園・京都俵屋・青山タワービル・タワーホテル
- **東新館** 鉄筋コンクリート造 平成9年完成。
基本設計 吉村順三。
- **仏教美術資料センター** 明治35年竣工、奈良県物産陳列館として開館。設計：関野 貞(1867-1935) 県技師として古社寺保存修理事業に尽力。耐震補強(平成21年~23年)実施済、近代建築の保存と活用の実践。
- **茶室八窓庵** 大和の三茶室の一つ、大乗院庭園から明治25年移設。古田織部好みの四畳台目下座床で草庵風の入母屋造り茅葺屋根。



女性委員会

第26回全国女性建築士連絡協議会（奈良）開催

平成28年度第26回全国女性建築士連絡協議会を奈良で開催しますので、お知らせします。

テーマ「未来へつなぐ居住環境づくり」 “日本の暮らし 豊かな生活文化の再発見”

平成28年 7月22日(金)～23日(土)

1日目(会場：奈良女子大学 講堂) 午後(13:00～17:00)

- 開会式
- 基調講演「日本の暮らし 豊かな生活文化の再発見」講師：渡辺光雄氏（岐阜大学名誉教授・工学博士）
- パネルディスカッション
- 東北地震被災地4県の現状報告と取り組み
※18:30頃より交流会（会場：ホテル日航奈良）

2日目(会場：奈良春日野国際フォーラム 薨) 午前(9:00～12:00)

- 8分科会を開催予定
- 全体会 閉会式
※13:00よりエキスカージョン「大人の修学旅行」(昼食付)開催(10コース程度)

サブテーマ“日本の暮らし 豊かな生活文化の再発見”について

近年、日本人の生活習慣が変化したことにより、地域の環境に即した伝統的な住まいに暮らす人が減少しています。和室や和の要素を改めて見直すことで、日本人らしい豊かな生活文化を再発見することができるのではないのでしょうか。先人の築いた知恵と工夫を見つめ直し、美しい日本の住まいのあり様を次の世代に引き継ぐことが、今、私達にとって重要な課題ではないのでしょうか。

奈良県吉野地方は室町時代より続く林業地で、ブランド材吉野杉・吉野松の生産地です。木材等の自然素材を生かしたこれからの和の住まいを、奈良の地で考えたいと思います。

“大和は国のまほろば 古き光はなおも爛然たり。” 渡来人よりもたらされた文化の礎が、今もなお輝き残る奈良の地を全国のみなさまにご堪能いただきたく思います。

男女の別にかかわらず参加可能です。参加ご希望の方は、奈良県建築士会女性委員会までお問い合わせください。

主催 公益社団法人 日本建築士会連合会女性委員会
主管 一般社団法人 奈良県建築士会



郡山支部

大和郡山城下町として大切にしたい建物50選 ～中村家住宅聞き取り調査の記録～

奈良県建築士会郡山支部では、歴史ある大和郡山市の現状を知り、美しい町並みと歴史的建造物の保存活動を進めるため、町家の調査を実施しています。調査した建物の中から時代を象徴する建物を「郡山として大切にしたい建物50選」として選定し、その建物の所有者・居住者の方に聞き取り調査を実施、将来の郡山の町並みを考える上で大切な歴史的価値や文化的価値を記録しております。これまで「杉原家住宅」「前田家住宅」「吉本家住宅」を本誌面でもご紹介してきましたが、今回は「中村家住宅」のヒアリング結果を報告いたします。



【建物概要】

建物名称：中村家住宅
所在地：本町
当初の用途：糸屋
現在の用途：専用住宅
建造時期：明治中期
構造規模：木造つし2階建

【建物現況と周辺状況】

郡山城下町の北部に位置する本町の通りは、道路幅員が周辺より広く、一昔前は昭和天皇をはじめ皇族の方々が奈良ホテルから柳澤神社へ向かう際に通られたとか。その様な歴史を感じる事が出来る場所に建つ、かつての商家です。

【歴史的特徴と建築的特徴】

本住宅は、木格子、虫籠窓、つし2階といった、町家の基本的な意匠を持っています。木製の螺旋階段やむくり屋根に合わせたつし2階の曲面の竿縁天井や繊細な細工を施された金物等、洒落た意匠が特徴的で、床の間や建具の意匠も非常に凝った造りになっています。敷地内には蔵が三棟（米蔵、道具蔵、内蔵）も有ります。

【建物の歴史・暮らしの様子・所有者の思い】

この建物は、東側に建つ中村酒造の分家で、元々は大阪で質屋を営まれていましたが、大日本紡績（現ユニチカ）が大和郡山に来る以前に移られ、本建物で糸屋（手巻）を営まれながら、切手類の販売もされていたそうです。

昭和43年頃には仕事の関係で一家で埼玉に住まれていたそうですが、その間も時々親戚の方が窓を開けたりして建物を維持してこられました。

奥様は維持管理に大変な手間がかかり、夏は暑く、冬は寒いと話されながらも、建物を維持し続けられています。現在、リフォームされた米蔵に息子さん一家がお住まいされており、今後とも建物を維持して貰えたらと考えておられます。

（記・郡山支部 郡山城下町建物探訪部会）





郡山支部

『未来につなぐ!』フォーラムへのご案内 ～城下町の歴史的建造物を活かしたまちづくり～

[2016年 3月13日(日)開催]

遡ること5年、奈良県建築士会郡山支部「城下町大和郡山建物探訪」部会は、文化庁の採択を受けた「歴史的建造物の保全・活用の促進による地域の活性化事業」で箱本十三町を中心とした歴史的建造物調査を開始しました。

“郡山の個性”ともいえる城下町で、まちの魅力を高めていくためには歴史的建造物の保存と活用を考えていくことが大切だ、という思いや危機感を持ちながら現在も活動を継続しております。

この度、「平成27年度大和郡山市まちづくりアイデアサポート事業」の支援を受け、「未来につなぐ!」と題したフォーラムを開催する運びとなりましたので、奈良県建築士会の皆様にも是非ご参加いただきたくご案内いたします。

【開催日】 2016年 3月13日(日)

【プログラム】

- ・まち歩き 9:45集合、10:00出発
やまと郡山城ホールエントランスホール
- ・パネル展 10:00-17:00 旧川本家住宅
- ・フォーラム 13:30-16:30 旧川本家住宅

★詳細は、チラシや下記ホームページをご覧ください。

<http://nara-kenchikushikai.or.jp/news/2016/file/20160203.pdf>

★申込み：城下町大和郡山建物探訪部会 何左(なざ)

T E L : 090-2278-9802 F A X : 0743-53-3826

★お越しいただいた方には調査報告冊子を差し上げます。

【これまでの主な活動】

- ①2012年 9月17日、やまと郡山城ホールにて「歴史的建造物の保全・活用の促進による地域の活性化事業」を通じた箱本十三町を中心とした歴史的建造物調査結果のパネル展示を行い、多くの方にご覧いただきました。
- ②2013年10月12日～20日、「HANARART 2013」の展示として菊寿亭(本家菊屋本店横)にて「城下町郡山箱本十三町パネル展示2013」を開催しました。
- ③2014年11月 7日～16日、郡山八幡神社にて「はならあと2014」の展示として、「みる・しる・つくる 城下町の町家」を開催しました。
- ④2014年 8月より、時代を反映する代表的な建物を選出し、建物の所有者・居住者のご協力を得ながら、聞き取り調査を実施しました。その歴史的建造物調査報告として、2016年 2月14日にやまと郡山城ホールにてパネル展示を行いました。

(記・郡山支部 城下町大和郡山建物探訪部会 折目貴司)



【2012年】 やまと郡山城ホールにて①



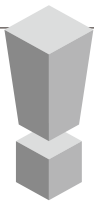
【2013年】 菊寿亭にて②



【2014年】 郡山八幡神社にて③



【2016年 2月14日】 やまと郡山城ホールにてパネル展示④



お知らせ

Information

●おめでとうございます。

平成27年度一級建築士試験 合格者一覧 (敬称省略) 40名 (奈良県)

上村 孝友	鄭 泰允	岩崎 健	吉村 達彦
山下 真依	岸 卓矢	松田 理代	西村 元吾
生駒 奉文	奥田 祐輔	三木かほり	黒木 洋
吉川 和弥	魚谷 将之	美島 裕作	西森 裕伸
平畑 雅俊	鈴木未和子	西原 洋臣	柿内 康裕
松下 広和	与語 一哉	本多 貴英	山口 麻有
西田 聖宣	宮本幸一郎	木戸あす佳	赤井 祐生
谷 一也	松石幸一郎	大石 和弘	小原 秀幸
吉田 将士	山本 晋也	南庄 祐輔	遠藤 恒
古川 博彬	熊埜御堂令	中西 大輔	森 剛

平成27年度二級建築士試験 54名 (奈良県)
平成27年度木造建築士試験 1名 (奈良県)

●2015高校生の「建築甲子園」奨励賞受賞

(公社)日本建築士会連合会主催の2015高校生の「建築甲子園」大会は、県内予選を経て本大会の審査結果が発表され、奈良県立奈良朱雀高等学校建築工学科の松山義広監督と選手4名(岡田裕気君、竹中克希君、西村幸希君、八木建君)の応募作品「奈良都祁 ナチュラルライフ」が奨励賞を受賞しました。

この表彰のため洲上会長が2月2日(火)に奈良朱雀高等学校を訪問して、監督と選手に表彰状と副賞を贈呈しました。



●平成28年建築士試験日程の案内

1 平成28年一級建築士試験日程 (予定)	
申込書配布	4月1日(金)～5月16日(月)
申込受付	5月12日(木)～5月16日(月)
「学科の試験」	7月24日(日)
「学科」合格発表	9月6日(火)
「設計製図の試験」	10月9日(日)
「設計製図」合格発表	12月15日(木)
2 平成28年二級建築士試験日程 (予定)	
申込書配布	3月7日(月)～4月11日(月)
申込受付	4月7日(木)～4月11日(月)
「学科の試験」	7月3日(日)
「学科」合格発表	8月23日(火)
「設計製図の試験」	9月11日(日)
「設計製図」合格発表	12月1日(木)

3 平成28年木造建築士試験日程 (予定)

申込書配布	3月7日(月)～4月11日(月)
申込受付	4月7日(木)～4月11日(月)
「学科の試験」	7月24日(日)
「学科」合格発表	9月6日(火)
「設計製図の試験」	10月9日(日)
「設計製図」合格発表	12月1日(木)

※申込受付については(一社)奈良県建築士会にて行う他に郵送やインターネットでも受付できる場合があります。

※詳細は(公財)建築技術センターのホームページをご覧ください。

●平成28年度通常総会の日程

日 時	平成28年5月19日(木) 16:00～ (予定)
場 所	奈良県文化会館
議 事	平成27年度事業報告及び決算承認 平成28年度事業計画及び予算承認 事業報告会 18:00頃～ (予定) 懇親会 19:00頃～ (予定)

※正会員の皆様は、後日送付いたします通常総会の案内に付いている出欠表を提出いただきますようお願いいたします。なお、残念ながら欠席される場合には、必ず委任状も記載したうえでご返送頂きますようお願いいたします。

●平成28年度一級・二級・木造建築士定期講習についてのお知らせ【第1期】

平成28年度の定期講習は(一社)奈良県建築士会が受付を行います。

講習会日時	平成28年6月8日(水)
場 所	奈良県産業会館 (大和高田市)
定 員	100名 (申込先着順)

受付期間: 4月12日～28日

※平成28年度の第二期以降の定期講習は日程、開催場所等の詳細が決定次第、随時会報誌等でお知らせいたします。

※詳しくはTEL 0742-30-3111までお問い合わせください。

ご挨拶



平成27年12月より奈良県建築士会事務局に勤務させていただくことになりました石田幸代と申します。皆様のお役に立てるよう努力したいと思っております。よろしくお願い申し上げます。



1月より勤務させていただくことになりました、鈴木玲子と申します。まだまだ、わからないことばかりですが、周りの皆様に助けていただきながら、日々頑張っております。早くお役に立ちたいと思っておりますので、ご指導の程よろしくお願い申し上げます。

新入会員のご紹介 『よろしく』

氏 名	支部	〒	住 所 (自宅)	勤 務 先
疋 田 さ つ き	奈良	631-0022	奈良市鶴舞西町2-10 ヴェルナール学園前E-111	建築設計事務所 senses*

編集後記

例年より早めに実施された事業が多かった関係で記事が少なく、今号はいつもより少ない12頁である。しかし、他士会と比較して士会活動は活発なので、都度多彩な記事を提供していただき、委員として大変感謝している。

士会活動には会員の動員が不可欠であるが、その数は年々減少している。2010年を境に1億2806万人だった日本の人口は、2030年には1億1662万人まで減少すると予測され、これは東京23区1個分が消滅したことになる。一方で、65歳以上の人口割合（高齢化率）は9%上昇すると推計されており、人口減少と高齢化に伴って建設業就業者も

年々減少している。建築士試験の合格率にも関係するが、建設業就業者の減少は会員の減少にもつながり、いかにして会員を増強していくか、建築士会にとって喫緊の課題になっている。

私は水道関係の業務に携わっている。訪問先の水道事業者では深刻な人手不足に陥っているため、隣接事業者と連携し、施設統合や経営統合を模索しながら広域化を図ろうとする動きがある。これを建築士会に置き換えると、支部間や他士会との連携・協働はもちろんのこと、広域化も考えていかなければならない。

(記・水守寛敏)

士会奈良

通巻606号
平成28年3月1日(発行隔月1回1日発行)

発行所 一般社団法人 奈良県建築士会
〒630-8115 奈良市大宮町2丁目5-7 奈良県建築士会館
電話 0742-30-3111 FAX 0742-33-4333
<http://nara-kenchikushikai.or.jp/>
info@nara-kenchikushikai.or.jp

発行責任者 瀧上 徳光
編集 (一社)奈良県建築士会 情報・広報委員会
印刷所 株式会社 明新社

Calendar

2016年3月

- 4(金) 奈良県地域文化財建造物専門スキルアップ講習会
- 5(土) IT活用意見交換会(奈良支部/青年委員会・奈良県建築士会館)
- 6(日) 京都国立博物館及び二条城見学(天理支部)
- 7(月) 二級・木造建築士試験申込書配布 4/11まで
- 12(土) 「近江八幡市環境エネルギーセンター見学」と「近江八幡市散策」(高田支部)
- 13(日) 未来につなぐ～城下町の歴史的建造物を活かしたまちづくり～フォーラム(郡山支部・旧川本家住宅) 近江八幡 伝統的建造物群保存地区、ヴォーリス建築の見学(橿原支部)
- 14(月) 二級・木造建築士試験申込郵送受付 3/29まで
- 20(日) ● 春分の日
- 21(月) ● 振替休日
- 23(水) 住宅無料相談会(奈良県建築士会館)
- 24(木) 理事会(奈良県建築士会館)

Calendar

2016年4月

- 1(金) 一級建築士試験申込書配布 5/16まで
- 4(月) 一級建築士試験申込郵送受付 4/18まで
- 7(木) 二級・木造建築士試験申込対面受付 4/11まで
- 21(木) 理事会(奈良県建築士会館)
- 27(水) 住宅無料相談会(奈良県建築士会館)
- 29(金) ● 昭和の日

重要なのは「今」の合格実績! 合格者数No.1の総合資格学院!!

平成27年 1級建築士 設計製図試験

奈良県
合格者占有率

No.1

奈良県 合格者占有率

57.5%

奈良県合格者40名中、当学院現役受講生23名
<平成27年12月17日現在>

他講習
利用者
+
独学者
当学院
現役
受講生

平成27年 2級建築士 設計製図試験

奈良県 合格者占有率

46.3%

奈良県合格者54名中、当学院現役受講生25名
<平成27年12月31日現在>

奈良県の合格者のおよそ2人に1人は、当学院の現役受講生!

※総合資格学院の合格実績には、模擬試験のみの受験生、教材購入者、無料の役務提供者、過去受講生は一切含まれておりません。※都道府県合格者数は、(公財)建築技術教育普及センター発表による。

法定講習 一級・二級 建築士定期講習/管理建築士講習
第一種電気工事士定期講習/監理技術者講習/宅建登録講習/宅建登録実務講習

法定講習サイト(検索)

開講講座 1級・2級 建築士/1級・2級 建築施工管理技士/1級・2級 土木施工管理技士/建築設備士
構造設計1級建築士/設備設計1級建築士/宅地建物取引士/インテリアコーディネーター



総合資格学院

奈良校

TEL.0742-30-1511

奈良県奈良市西大寺栄町3-27 泉谷ビル 4F

<http://www.shikaku.co.jp>

総合資格

検索

Facebook 「総合資格 fb」で検索!

学院長 岸 隆司